

日本ブランド発信事業

【令和3年度政府予算案額：20百万円】

【事業概要】

○伝統と革新、技術、デザイン、価値観等、幅広い分野で「日本ブランド」を体現する専門家を海外に派遣（各人2～3都市、1週間程度）し、講演会、実演、ワークショップ等を実施。日本の多様な魅力の発信を通じて、インバウンドの促進や国際交流の端緒を開くとともに、日本全体のブランド向上に繋げる。

○令和元年度は、鉄道旅行、少女漫画、サイクル・ツーリズム、大相撲、温泉・旅館、盆栽、越前和紙、書道・茶道、超小型宇宙衛星、パラスポーツの専門家11名を延べ36都市に派遣。

超小型宇宙衛星

令和2年1月28日～2月7日

派遣先：エチオピア（アディスアベバ）、ザンビア（ルサカ）、アンゴラ（ルアンダ）



中村友哉

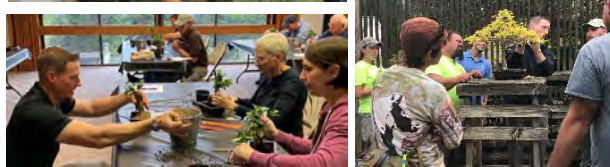
（株）アクセルスペース代表

日本が世界に先駆けて成功させた超小型衛星について講演には、閣僚を含む政府関係者や企業関係者が参加。現地で構築した関係は帰国後も続いており、日本発の超小型衛星技術がアフリカ諸国の発展に如何に貢献できるかを示し、日本と共に宇宙利用の可能性を追求する契機となった。

盆栽

令和元年10月3日～14日

派遣先：米国（ワシントンDC、メンフィス、ナッシュビル、クリーブランド、コロンバス）



アダム・ジョーンズ

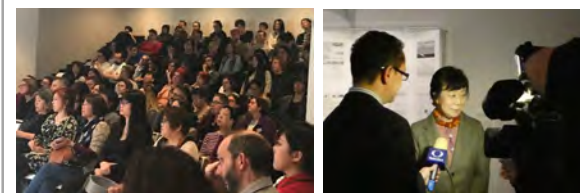
盆栽師

茨城県で盆栽園を営むジョーンズ氏が、講演や剪定の実演・ワークショップを通して、盆栽の魅力や楽しみ方を紹介。講演を行ったベルmont大学では、学生からの反響が特に大きかったことから、来年の同大学日本修学プログラムの日程に、ジョーンズ氏の盆栽園視察を加える方向で調整することになった。

漫画

令和元年5月18日～26日

派遣先：英国（ロンドン、リッチ）



萩尾望都

漫画家

大英博物館マンガ展の開幕に際し、「ポーの一族」等の代表作で知られる、漫画家の萩尾氏が編集者とともに、ジャパン・ハウス ロンドンやセインズベリー日本藝術研究所等にて少女漫画の魅力を発信。同マンガ展オープニングでは、展示された自らの作品の前でメディア・インタビューにも応じた。

主な世論調査の結果(令和元年度)

米国における対日世論調査

1. 対日関係 《ハリス社に委託》
- 一般の部:85%が日本は信頼できる友邦と評価
 - 有識者の部:89%が日本は信頼できる友邦と評価
2. G20参加国の中で、重要なパートナー
- 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:45%(1位)(2位は英国41%、3位はカナダ38%)
将来:44%(1位)(2位はカナダ37%、3位は英国36%)
3. 平和国家としての日本
- 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを85%が評価

ASEANにおける対日世論調査

(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)

1. 対日関係 《Edelman Intelligence社に委託》
- 93%が日本と友好関係にあると評価
2. G20参加国の中で、重要なパートナー
- 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:57%(2位)(1位は中国59%、3位は米国40%)
将来:51%(1位)(2位は中国48%、3位は米国37%)
3. 平和国家としての日本
- 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを90%が評価

モンゴルにおける対日世論調査

1. 対日関係 《Edelman Intelligence社に委託》
- 87%が日本と友好関係にあると評価
2. G20参加国の中で、重要なパートナー
- 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:30%(3位)(1位はロシア76%、2位は中国44%)
将来:39%(2位)(1位はロシア48%、3位は米国26%)
3. 平和国家としての日本
- 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを82%が評価

豪州における対日世論調査

1. 対日関係 《Edelman Intelligence社に委託》
- 79%が日本と友好関係にあると評価
2. G20参加国の中で、重要なパートナー
- 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:33%(4位)(1位は米国61%、2位は中国52%、3位は英国46%)
将来:40%(4位)(1位は米国55%、2位は中国50%、3位は英国42%)
3. 平和国家としての日本の歩み
- 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを77%が評価

インドにおける対日世論調査

1. 対日関係 《Edelman Intelligence社に委託》
- 95%が日本と友好関係にあると評価
2. G20参加国の中で、重要なパートナー
- 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:53%(1位)(2位は米国52%、3位はロシア33%)
将来:52%(1位)(2位は米国43%、3位は英国32%)
3. 平和国家としての日本
- 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを95%が評価

アフリカ3か国における対日世論調査

(ケニア、コートジボワール、南アフリカ)

1. 対日関係 《Edelman Intelligence社に委託》
- 88%が日本と友好関係にあると評価
2. G20参加国の中で、重要なパートナー
- 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:23%(5位)(1位は中国67%、2位は米国37%、3位はフランス28%)
将来:29%(3位)(1位は中国48%、2位は米国36%)
3. 平和国家としての日本
- 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを88%が評価